

# 2019年度 健康科学大学 学生生活満足度調査

—結果報告—

2020年 9月

健康科学大学

## 調査概要

---

### 1.調査目的

本調査は、学生生活全般に関する現状把握と満足度を調査し、教育環境や設備の改善に役立てるために行う。

### 2.調査対象 健康科学大学2019年度在学者

### 3.調査方法 グーグルフォーム及び紙媒体

### 4.調査実施時期 配布日時:2019年7月29日 回収期限:2020年3月10日

### 5.依頼数、回収数、回収率

区分	調査対象	依頼数	回収数	回収率
合計	対象者	943	865	92%
学科別	理学療法学科	359	331	92%
	作業療法学科	193	176	91%
	福祉心理学科	126	106	84%
	看護学科	265	252	95%

## 基礎情報

### 学科

①理学療法学科	②作業療法学科	③福祉心理学科	④看護学科	回答数
331	176	106	252	865

### 学年

1年	2年	3年	4年	回答数
205	241	203	216	865

### 性別

①男	②女	回答数
426	439	865

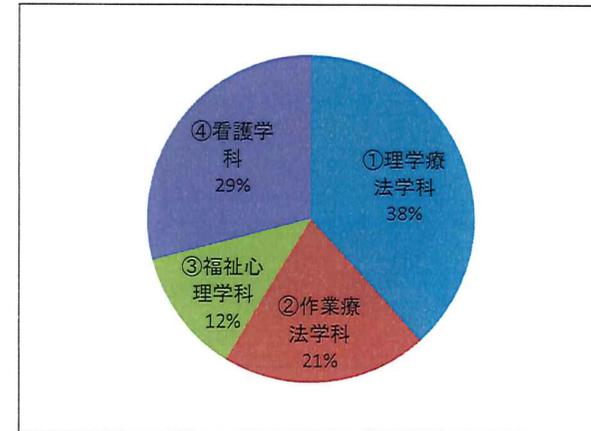
### 住居

①自宅	②下宿・アパート等	③親せき宅	④その他	回答数
383	468	9	3	863

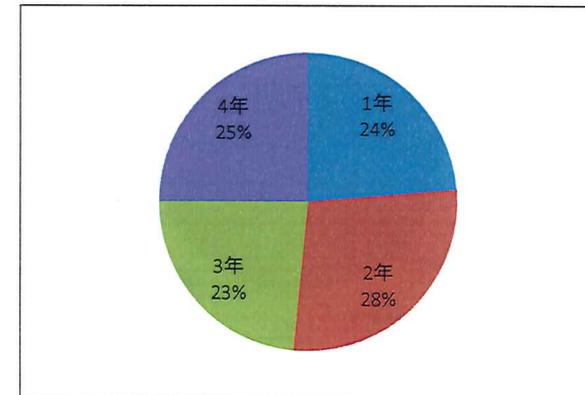
### クラブ・サークル

①所属している	②所属していない	回答数
251	605	856

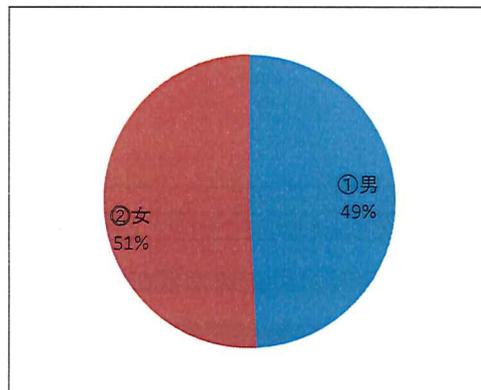
### 学科



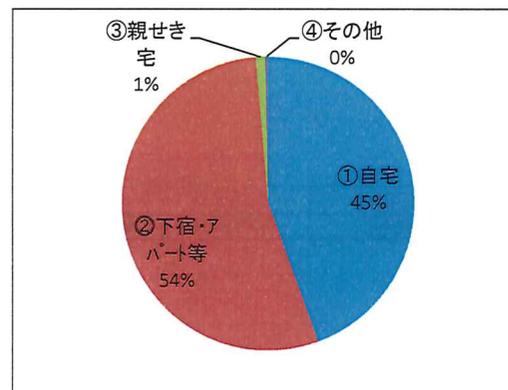
### 学年



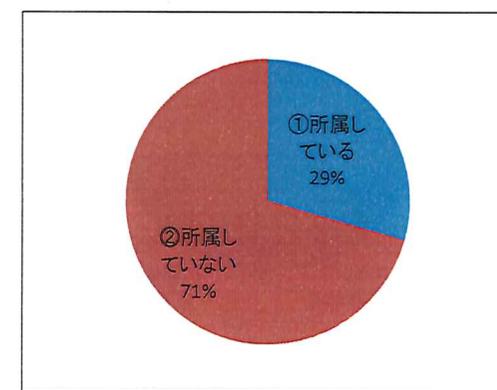
### 性別



### 住居



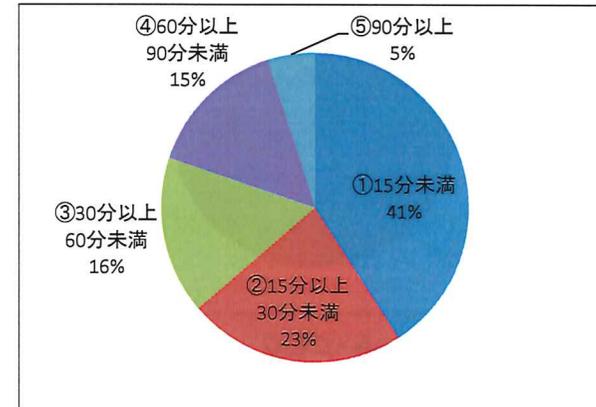
### クラブ・サークル



## □通学について

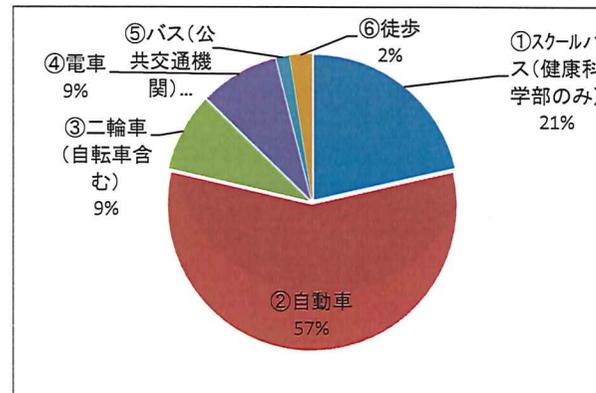
問1.片道の通学時間はどれくらいですか

①15分未満	②15分以上30分未満	③30分以上60分未満	④60分以上90分未満	⑤90分以上	回答数
352	197	142	128	43	862



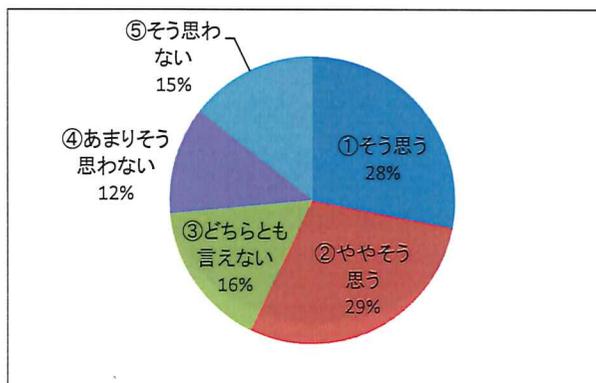
問2.どのような通学手段を利用していますか(複数回答可)

①スクールバス(健康科学部のみ)	②自動車	③二輪車(自転車含む)	④電車	⑤バス(公共交通機関)	⑥徒歩
217	579	88	89	15	25
					回答数
					1013



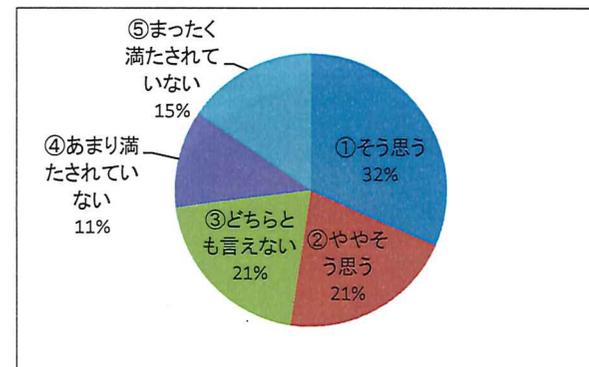
問3.大学までの通学について困難だと感じますか

①そう思う	②ややそう思う	③どちらとも言えない	④あまりそう思わない	⑤そう思わない	回答数
242	252	142	104	125	865



#### 問4. 通学を援助する手段がさらに必要だと思いますか

①そう思う	②ややそう思う	③どちらとも言えない	④あまり満たされていない	⑤まったく満たされていない	回答数
273	180	178	99	134	864

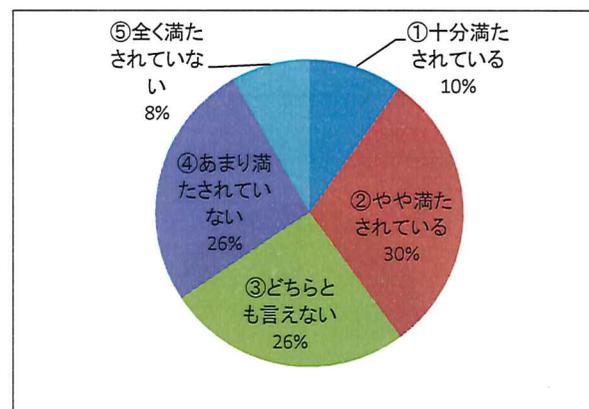


### □施設・設備について

#### 問5. 施設・設備は満たされていると感じますか

①十分満たされている	②やや満たされている	③どちらとも言えない	④あまり満たされていない	⑤全く満たされていない	回答数
85	259	221	226	71	862

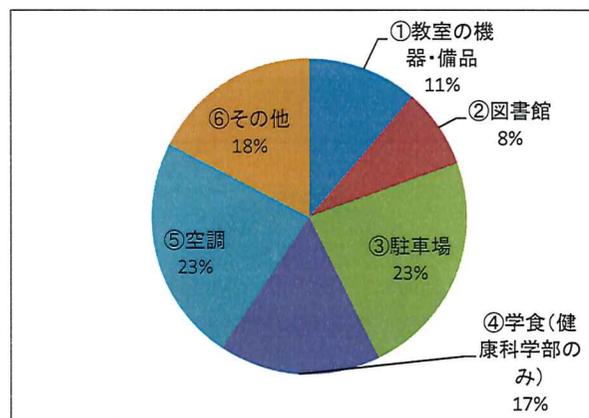
「満たされている」と「十分満たされている」と答えた割合が40%「あまり満たされていない」と「まったく満たされていない」と答えた割合が34%となった。両極端な結果となったため、今後は自由回答にて学生の意見を集約して検証していく必要がある。



#### 問6. 改善してほしい施設・設備は何ですか

①教室の機器・備品	②図書館	③駐車場	④学食(健康科学部のみ)	⑤空調	⑥その他
96	69	197	141	197	147
					回答数
					847

「空調」「駐車場」と回答した割合が同数となった。この2点は毎年学生から要望が上がってるため、原因を分析して改善していく余地があると感じる。健康科学部「学食」については、昨年度より値上をしたため、昨年度13%から17%に上昇している。



## □学生相談について

問7.悩みや困りごとを相談することができる「学生相談室」や「クラス担任制度」を知っていますか

①両方とも知っている	②両方とも知らない	③学生相談室は知っているがクラス担任制度は知らない	④クラス担任制度は知っているが学生相談室は知らない
579	116	62	104
回答数			
861			

学生相談室を知らないと答えた学生が26%いる。学生への周知が十分ではないこと、学生サポートセンターとは別のものと捉えている、といった可能性がある。クラス担任制度を知らないと答えた学生は21%いる。実際には全員がクラス担任制度の中に在るため、その言葉を知らなかったとも考えられる。

問8.今悩んでいることや困っていることはありますか

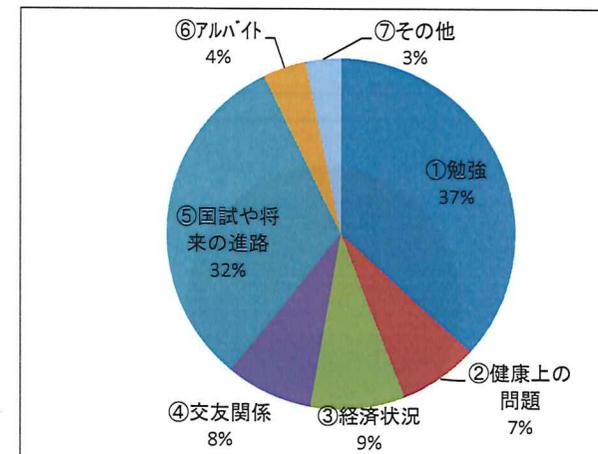
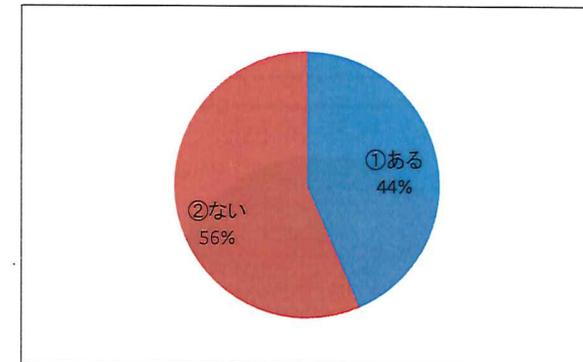
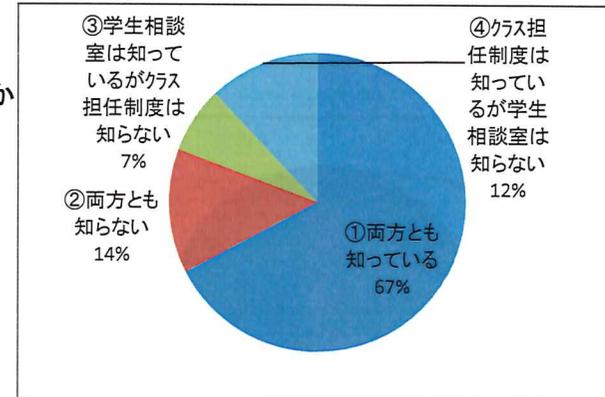
①ある	②ない	回答数
376	488	864

「ない」と比べれば「ある」と答えた学生数のほうが少ないが、4割以上(44%)の学生は何らかの悩みや困りごとを抱えている。

問9.問8で①を選んだ方に伺います。悩んでいることや困りごとは何ですか。

①勉強	②健康上の問題	③経済状況	④交友関係	⑤国試や将来の進路	⑥アルバイト
277	56	66	61	241	30
⑦その他					回答数
25					756

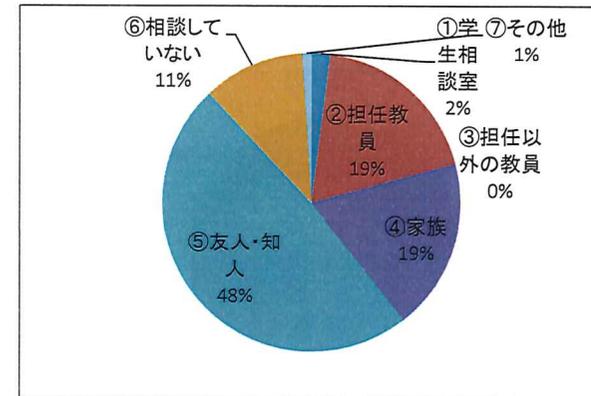
悩みや困りごとが「ある」と答えた学生のうち、37%は「勉強」を、32%は「国試や将来の進路」を選択しており、学業と進路を合わせると69%を占めている。ほかの項目はそれぞれ10%未満である。



問10.問8で①を選んだ方に伺います。悩みがある場合、誰に相談していますか(複数回答可)

①学生相談室	②担任教員	③担任以外の教員	④家族	⑤友人・知人	⑥相談していない
9	86	0	85	222	50
					⑦その他
					5
					回答数
					452

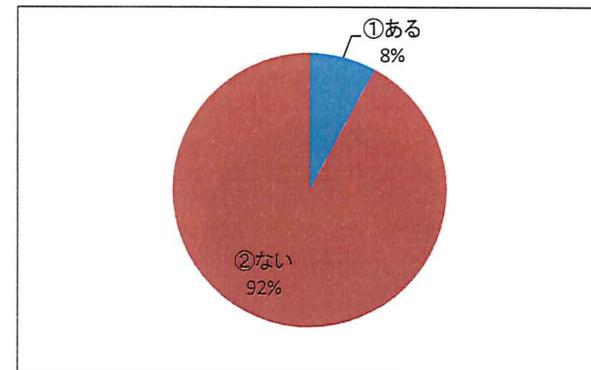
実際に悩みを相談している相手は「友人・知人」が48%と最も多い。次に多いのが担任教員と家族で、それぞれ19%である。大学側(担任教員、学生相談室)の21%に対して大学側以外に悩みを相談しているのは67%である。



問11.「学生相談室」を利用したことはありますか

①ある	②ない	回答数
64	752	816

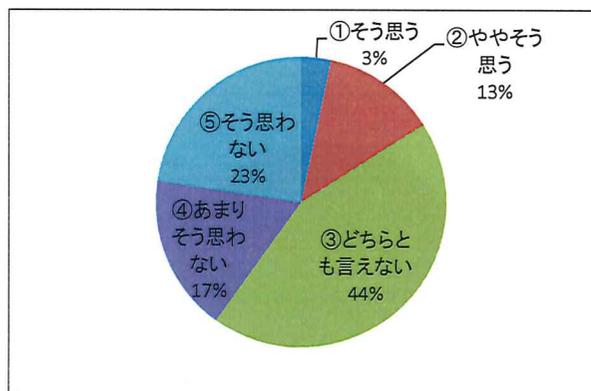
「ある」と答えた学生は8%である。92%の学生が「学生相談室」を利用したことがないという結果が出ているが、相談室を利用するほど悩んでいないという現状がうかがえる。



問12.「学生相談室」に悩みや困りごとを相談したいと思いますか

①そう思う	②ややそう思う	③どちらとも言えない	④あまりそう思わない	⑤そう思わない	回答数
28	106	369	146	190	839

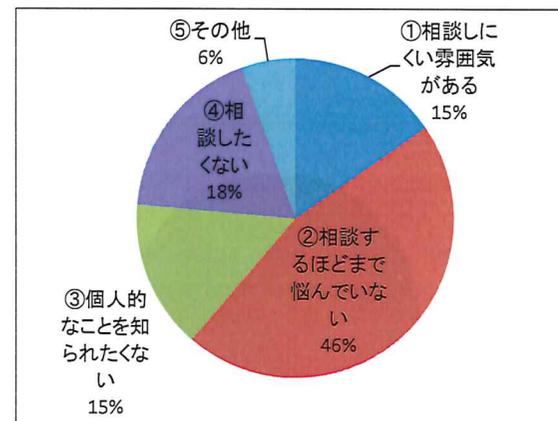
「そう思う」、「ややそう思う」という肯定的な回答は16%、「そう思わない」、「あまりそう思わない」という否定的な回答は40%となり、否定的な回答の方が多く、これは問11と同様相談室を利用するほど悩んでいないという現状が見て取れる。



問13.問12で④または⑤を選んだ方に伺います。それはなぜですか

①相談しにくい雰囲気がある	②相談するほどまで悩んでいない	③個人的なことを知られたくない	④相談したくない	⑤その他	回答数
56	167	55	66	20	364

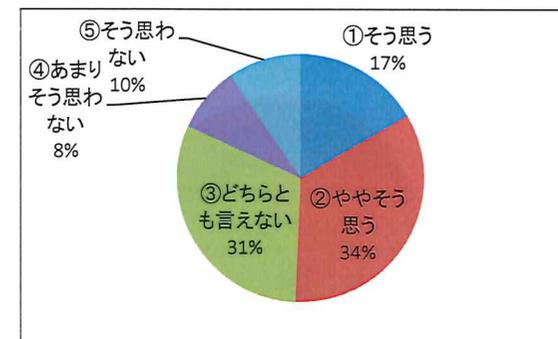
「相談するほどまで悩んでいない」を除くと、「相談したくない」が18%で最も多く、「相談しにくい雰囲気がある」と「個人的なことを知られたくない」がともに15%と続く。問11、12と同様、相談するほど悩んでいないという現状が見て取れる。



問14.教員に悩みや困りごとを相談したいと思えますか

①そう思う	②ややそう思う	③どちらとも言えない	④あまりそう思わない	⑤そう思わない	回答数
136	279	255	70	79	819

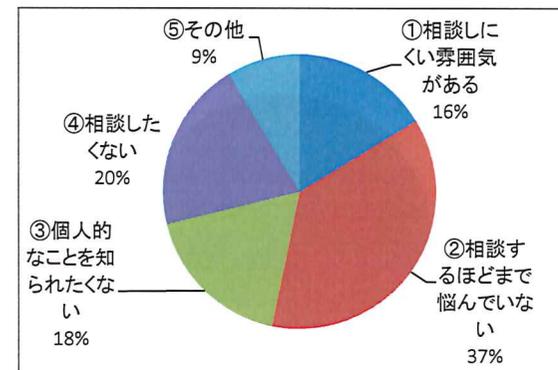
「そう思う」、「ややそう思う」という肯定的な回答は51%であった。それに対し「そう思わない」、「あまりそう思わない」という否定的な回答は18%であった。約半数の学生が教員に悩みや困りごとを相談したいと思っている。



問15.問14で④または⑤を選んだ方に伺います。それはなぜですか

①相談しにくい雰囲気がある	②相談するほどまで悩んでいない	③個人的なことを知られたくない	④相談したくない	⑤その他	回答数
30	68	33	37	16	184

「相談するほどまで悩んでいない」を除くと、「相談したくない」が20%と最も多く、次いで「個人的なことを知られたくない」が18%、「相談しにくい雰囲気がある」が16%と続く。相談することに対して否定的な回答をした学生が5割以上(54%)いるが、問11、12、13、14と同様、相談するほど悩んでいないという現状が見て取れる。

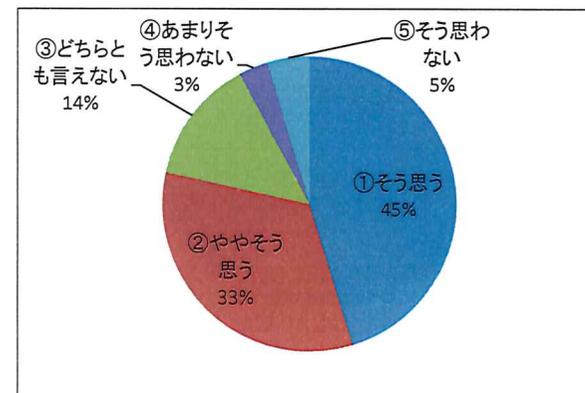


## □就職について

問16.就職について、希望の職種や就職先(進学先)に行けるか不安に感じますか

①そう思う	②ややそう思う	③どちらとも言えない	④あまりそう思わない	⑤そう思わない	回答数
390	286	118	28	40	862

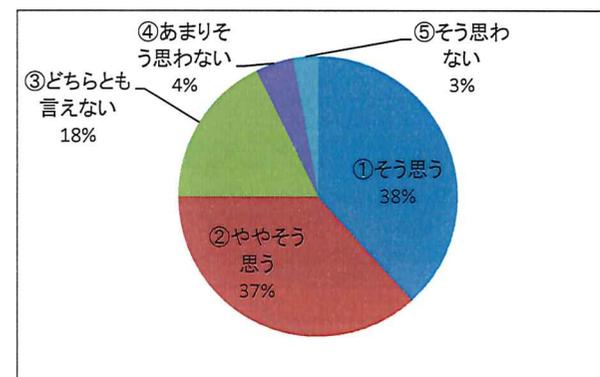
「そう思う」と「ややそう思う」で78%を占めており、就職に対する爆戦とした不安を感じている。



問17.就職について教職員に相談したいですか

①そう思う	②ややそう思う	③どちらとも言えない	④あまりそう思わない	⑤そう思わない	回答数
329	317	152	38	25	861

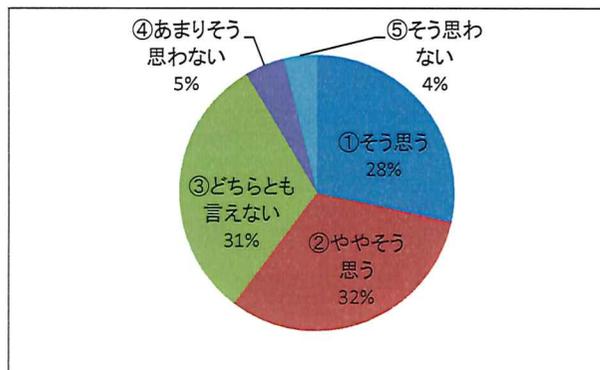
「そう思う」と「ややそう思う」で75%を占め、75%の学生が教職員への相談欲求を出している。不安と相談欲求の対応は妥当と考えられる。



問18.就職専用の施設(部屋・設備)がほしいですか

①そう思う	②ややそう思う	③どちらとも言えない	④あまりそう思わない	⑤そう思わない	回答数
245	275	269	40	34	863

就職専用の設備に関しては、「どちらとも言えない」が「そう思う」、「ややそう思う」とほぼ同数の数となった。これは、学生には住職専用の施設や設備と言われてもイメージがつかず判断が難しかったことが想像できる。

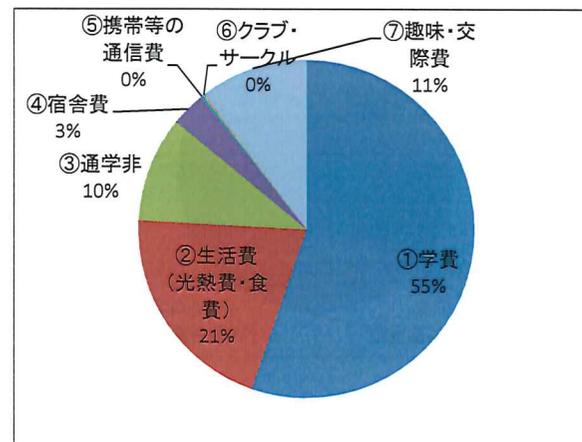


## □経済状況について

問19.経済的に負担となっているものは何ですか

①学費	②生活費(光熱費・食費)	③通学非	④宿舍費	⑤携帯等の通信費	⑥クラブ・サークル
473	176	86	28	3	1
					⑦趣味・交際費
					89
					回答数
					856

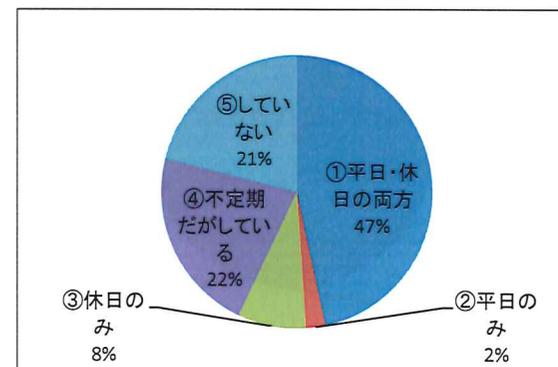
経済的に負担となっている大きな要因として学費があげられた。学費が大きな負担となっている要因として、実習にかかる費用が推察される。特に長期実習であるほど賃貸契約料は高くなり、県外であれば引越し代等の諸経費が発生する。対応策として、入学時から実習で発生する費用について告知し、早期から準備をしていただく必要がある



問20.アルバイトをしていますか

①平日・休日の両方	②平日のみ	③休日のみ	④不定期だがしている	⑤していない	回答数
402	20	70	188	182	862

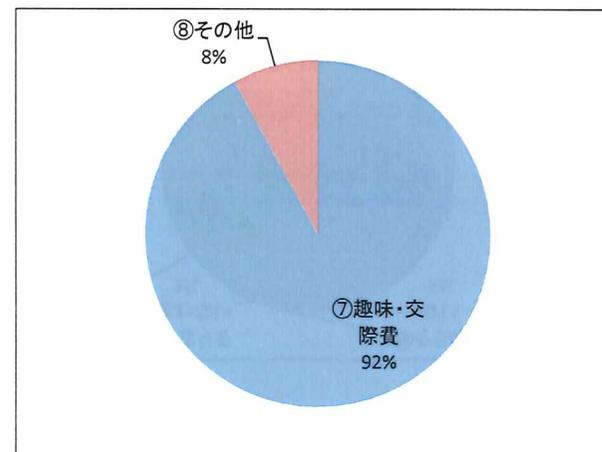
アルバイトは平日・休日の両方実施している。また平日のみ、休日のみ、不定期を含めると、アルバイトを実施している学生は680名となり、ほとんどの学生がアルバイトをしていることが明らかとなった。



問21.アルバイト代の主な使い道は何ですか

①学費	②生活費(光熱費・食費)	③通学費	④宿舍費	⑤携帯等の通信費	⑥クラブ・サークル
42	291	69	10	11	1
				⑦趣味・交際費	⑧その他
				299	26
				回答数	
				325	

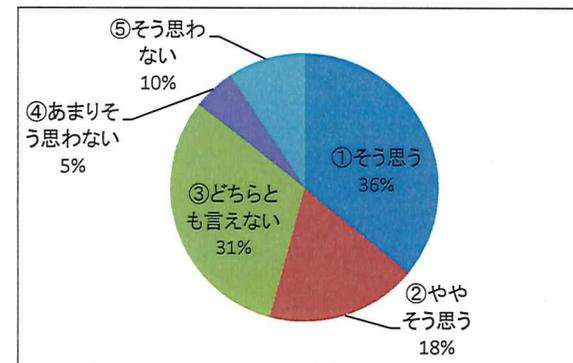
生活費(光熱費・食費)と趣味・交際費がアルバイト代の主な使い道として挙げられた。アパートを契約して通学している学生もいることから、生活費をすべてバイト代でやりくりしていることが推察される。また学費に費やしている学生は少ない。学費を出してもらっている保護者の負担を減らすために、アルバイトをして生活費に充てていると考える。



問22.成績評価による特待生以外の奨学給付制度を希望しますか

①そう思う	②ややそう思う	③どちらとも言えない	④あまりそう思わない	⑤そう思わない	回答数
306	156	267	43	80	852

「そう思う」の割合が昨年度55%より今年度36%と大幅に下落した。なぜこのようになったのか、原因を分析する必要がある。

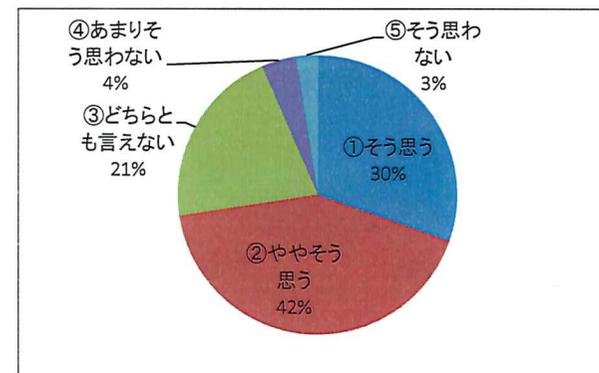


□授業・学修について

問23.授業科目の履修方法やカリキュラムについてのガイダンスは十分でしたか

①そう思う	②ややそう思う	③どちらとも言えない	④あまりそう思わない	⑤そう思わない	回答数
261	363	180	34	22	860

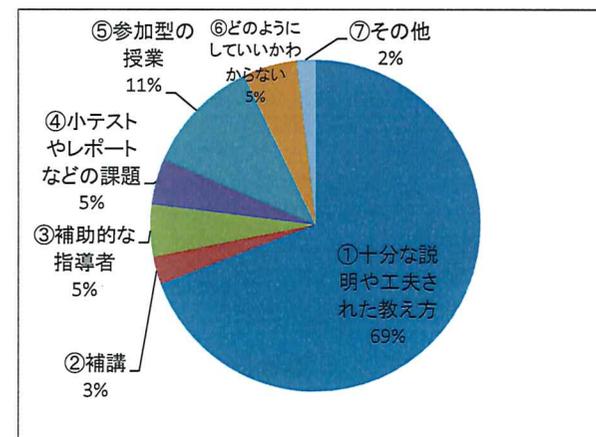
「ややそう思う」が42%(昨年度40%)、「そう思う」が30%(昨年度27%)となり、72%の学生が好意的な回答をしている。ガイダンス等は学生にとって有益となっていると推測する。



問24.授業を理解するうえで最も必要と思うことはなんですか

①十分な説明や工夫された教え方	②補講	③補助的な指導者	④小テストやレポートなどの課題	⑤参加型の授業	⑥どのようにしていいかわからない
595	23	44	39	98	45
				⑦その他	回答数
				16	860

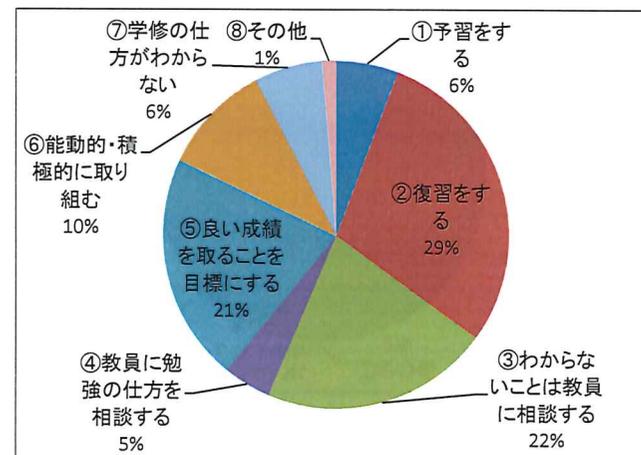
昨年と同様の結果となった。最多回答は「十分な説明や工夫された教え方」次いで「参加型の授業」となり、この2つで80%を占めている。



問25.学修に対しどのように取り組んでいますか(複数回答可)

①予習をする	②復習をする	③わからないことは教員に相談する	④教員に勉強の仕方を相談する	⑤良い成績を取ることを目標にする	⑥能動的・積極的に取り組む
83	417	306	64	303	147
			⑦学修の仕方がわからない	⑧その他	回答数
			91	19	1430

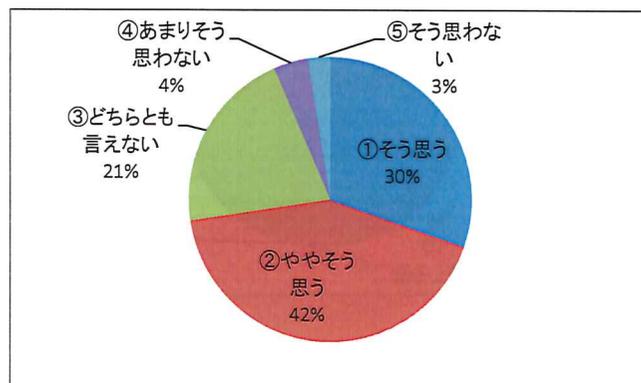
「復習をする」29%、「わからないことは教員に相談する」22%、「良い成績を取ることを目標にする」21%となり、合計で72%と高い数値となった。



問26.自分の成績についてもっと評価をあげたいと思っていますか

①そう思う	②ややそう思う	③どちらとも言えない	④あまりそう思わない	⑤そう思わない	回答数
261	363	180	34	22	860

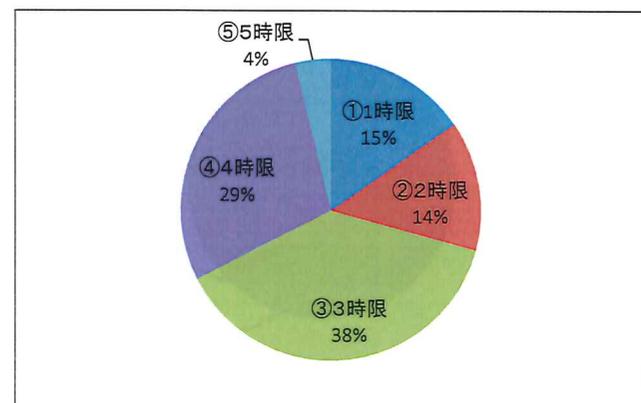
「ややそう思う」と「そう思う」で72%となり、昨年(88%)と比べると16%減少している。今後はこのあたりを分析する必要がある。



問27.授業時間は平均して1日に何時間取っていますか

①1時限	②2時限	③3時限	④4時限	⑤5時限	回答数
131	118	325	244	33	851

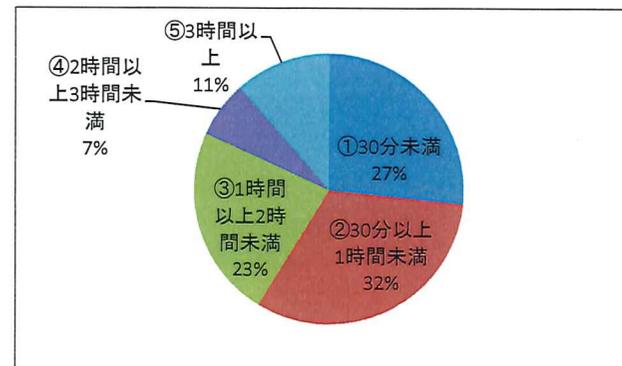
「③3時限」が38%、次いで「④4時限」が29%となり、77%の学生が3時限以上授業を受けている。



問28.授業時間以外の学修時間は予習・復習を含め1日に平均何時間ぐらいですか

①30分未満	②30分以上1時間未満	③1時間以上2時間未満	④2時間以上3時間未満	⑤3時間以上	回答数
228	276	197	58	99	858

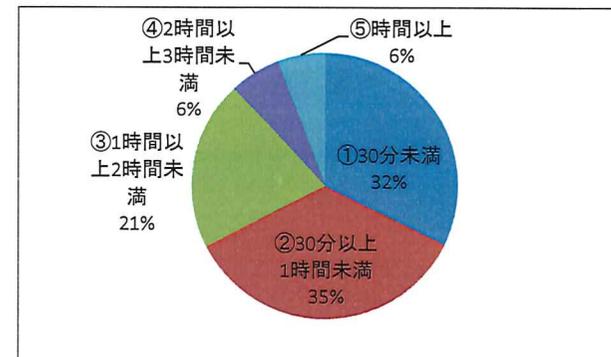
「②30分以上1時間未満」が32%、次いで「①30分未満」が27%となり、1時間未満の学生が半数を占めている。



問29.問28の学修時間のうち、自宅での学修時間(予習・復習含む)は平均何時間ぐらいですか

①30分未満	②30分以上1時間未満	③1時間以上2時間未満	④2時間以上3時間未満	⑤3時間以上	回答数
276	303	176	53	50	858

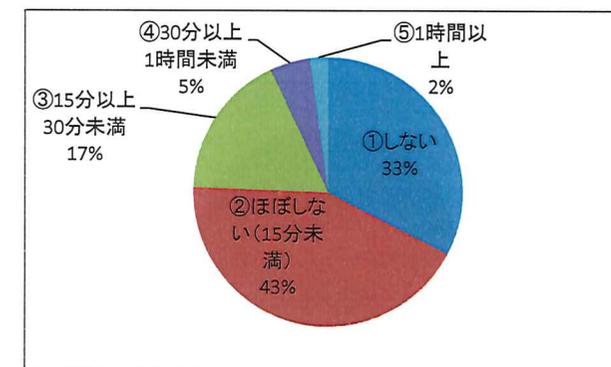
「②30分以上1時間未満」が35%、次いで「①30分未満」が32%となり、問28とほぼ同じ割合となり、1時間未満の学生が57%(半数以上)を占めている。



問30.問28の学修時間のうち、授業の予習は平均何時間ぐらいですか

①しない	②ほぼしない(15分未満)	③15分以上30分未満	④30分以上1時間未満	⑤1時間以上	回答数
279	368	149	41	19	856

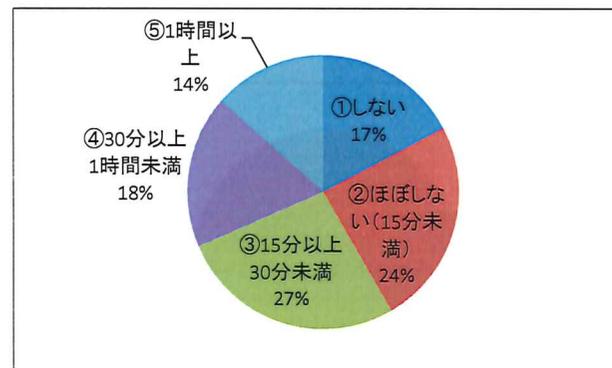
「②ほぼしない(15分未満)」が43%、次いで「①しない」が33%となり、ほとんどの学生は予習時間を取っていない。



問31.問28の学修時間のうち、授業の復習は平均何時間ぐらいですか

①しない	②ほぼしない(15分未満)	③15分以上30分未満	④30分以上1時間未満	⑤1時間以上	回答数
147	207	228	153	115	850

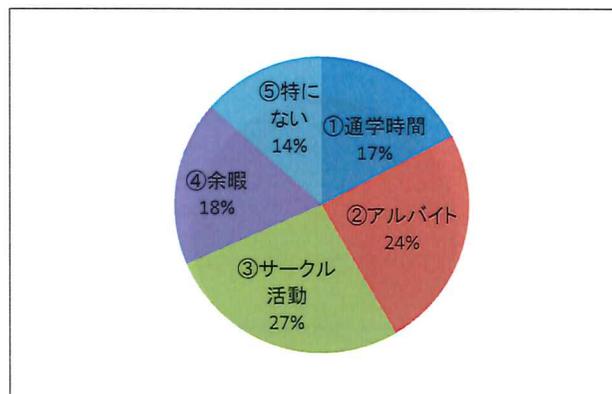
「③15分以上30分未満」が27%、次いで「②ほぼしない(15分未満)」が24%となり、約51%(約半数)の学生は30分未満しか復習を時間を取っていない。



問32.学修時間に最も影響を与えているのは何ですか

①通学時間	②アルバイト	③サークル活動	④余暇	⑤特にない	回答数
147	207	228	153	115	850

「③サークル活動」が27%、次いで「②アルバイト」が24%となり、約半数が学生生活に欠かせないサークルとアルバイトにより学修時間に影響を与えている。



2020年8月

## 2019年度 健康科学大学 学生生活満足度調査 結果報告について

2020年3月10日期限にて2学部4学科の全学年生（943名）を対象にアンケート調査を行い回収率は92%（865名）であった。

満足度について学生の要望が高いのは、施設・設備について「空調」、「駐車場」、「学食」である（問6）。空調については順次設置教室を増やしているため改善は図られている。自家用車を利用する通学が6割（問2）あることから今後、駐車場の増設は必要と思われるが、車両登録済みの台数において駐車場所は充足されており、駐車区画の整備を図ることで一定数の改善は望めると考える。学食に関しては看護学部においては設置を求める声が大きいと考えられ、学部間の施設の有無が要望としての数字となっている。次に、就職について不安を感じる学生が約8割おり（問16）、また教員への相談要求も約8割（問17）出ている。困りごとについて「勉強」、「国試や将来の進路」を挙げる学生が多く（問9）、実際、相談対象として教員を選択する学生が一定数いる（問10、問14）ことから、教員側に就職相談のスキルさえ確立されていれば学生の要求に応えることは十分可能である。惜しむらくは学生相談室の認知が学生間に浸透していないこと（問7、問11）であり、利用方法や窓口の敷居の低さが今以上に浸透すれば、学生側の相談先の選択肢として常態化し満足度も向上することが予想できる。学修面に対する満足度は高く（問23）、学生自身も意欲が高い（問25）。一方、学修

面で不安要素となる経済状況についてはほぼ例年並みの結果となっており（問 19）、アルバイトについても約 8 割の学生が行っていることから（問 20）、経済的には余裕がある学生は少なくアルバイトと学修の両立をどう図るかを前提とした生活指導が必要である。

今回の調査はコロナ禍が本格化する前に締め切られており、現状はアンケート項目全般において、学生、ご家族が深刻な状況にあることは容易に推察され、現状を把握する必要性においては早急に質問項目を精練し現状に即した再調査を行うべきであると考えます。

・今後のアンケート調査における改善点

- ① 施設環境の違いから 2 学部間でのサンプル対比を行った方がよい質問項目を精練
- ② 通学手段・通学時間と自宅通学者の関連性を検定できるように改善
- ③ クラブ・サークル活動所属者の前年度比
- ④ 通学時間やアルバイト時間が学修時間に与える因果関係の解明
- ⑤ 学生相談室の相談可能範囲の周知と啓蒙
- ⑥ 満足度アンケートの調査対象を保護者へ拡大するかの検討
- ⑦ 担任の存在を知らない学生への周知徹底
- ⑧ 他委員会・学科単位で行われているアンケート調査との質問項目の調整